

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2		利用目的によって部屋を分けている。利用人数に対してそれなりのスペースはある。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3		個人的対応が必要な子が複数いる日は大変。利用者の動きに対応するのが大変な職員もいる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	4	賃貸ではあるが、必要であれば検討すべき。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		問題があれば、職員間ですぐに話し合っ解決している。PDCAが定期的には行われていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		業務改善できていない部分もあるので、今後改善したい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			印刷物を保護者に配布の上、HPIに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2		研修の参加・情報の共有を行っているが、職員によっては日常業務に追われ機会確保に難。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			学校の「個別指導計画」と「福祉サービス利用計画書」を用いて作成している。作成に際し、聞き取りも行っている。複数の放デイ利用の子供については、他の事業所の様子を知りたい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		サポートファイルと学校でのアセスメントツールを使用している。しかし、職員全員が知りえるものでない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		毎月職員みんなで話し合っているので充実している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			行事や季節を取り入れたり、利用者が好きなものを組み込んでいる。いろいろなアイデアを出し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		長期休みにしかできないことを計画している。もっと考えた方がいいかもしれない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		平日は集団活動は行っているが、個別活動は時間的なこともあり特定の子のみである。他の事業所ではどのように行っているのか参考にしたりして、個々の向上につなげたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3		常勤の打ち合わせを行い、非常勤職員には日誌等で各自確認してもらっている。全員での打ち合わせは必ずしも毎日行っていない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	1	送迎等もあり全員が顔を合わせて終業することがないため、打ち合わせは行っていない。日誌やホワイトボードで確認してもらっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			職員全員記録を取ることを理解している。毎日当番制で業務日誌をつけている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			半年以内に一度、定期的なモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5			活動を分類し、偏らないように組み合わせ合わせて行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児童発達支援管理責任者が参加している。
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			適切に行えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		現在医療的ケアが必要な利用者はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	1	あすなる園へ見学に行ったり、先方職員の実習課題を提供したりしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		必要であれば情報の提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		1	研修に参加できている職員と、時間的にできていない職員がいる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5			一昨年より夏休みに吉見児童クラブと交流している。年間の回数的にどうか？
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		管理者(全体)及び児童発達支援管理責任者(部会)が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			毎日送迎時またはお迎え時に一日の様子を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	2	ペアトレ等の支援は行っていない。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			保護者の話を聞き、統一した対応ができるようにしている。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	2	保護者会を開催できていない。年間計画に落とし込み、実施したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情や要望でも、迅速に対応するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			毎月のじゃんぷ通信や、ブログで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			HP等掲載承諾書を取っている。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			マカトンサインなどを使って情報伝達している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2	特に地域住民とのかかわりはないが、積極的に挨拶するようにしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	1	玄関にマニュアルを配置してはいるが、保護者への徹底が出来ていない。保護者会などで周知徹底を図りたい。新型コロナウイルスについては、玄関に国からのパンフレットを掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			毎月防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		なかなかそういった内容の研修に行く機会がない。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		そのようなことが考えられる子供には計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2		現在食物アレルギーのある利用者はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハットがあった時にはその都度記載している。